

2・3月のほけんだより

令和7年2月1日 認定こども園上小泉保育園

寒い日が続きますが、静かな春の足音も時折聞こえてきます。今年度も残り2か月になりました。子どもたちはこの1年で、大きくたくましく成長しましたね。

まだまだ感染症が流行しやすい時期です。引き続き、換気、手洗い、咳エチケットなどで感染予防しながら元気にすごしましょう。



インフルエンザ流行しています



今年に入り、早々にインフルエンザが猛威を振っています。園でも今年に入りインフルエンザA型に感染するお子さんが増えています。今後、インフルエンザB型が流行するおそれがあります。十分に気を付けてください。



みんなで予防! インフルエンザ
かからない / うつさない /



マスクの着用について



インフルエンザが流行している間、3歳以上児はマスクの着用を推奨します。

また、通園カバンにかならずマスクを袋に入れて持ってきてください。(3歳以上児)

咳のしぶきは風邪の原因となるウイルスが含まれています。咳がひどい時は、しっかり休んで咳エチケットを守りましょう。



治癒報告書・意見書の提出について



治癒報告書や意見書をもって登園される場合は、かならず玄関で職員に手渡しをお願いいたします。手渡しされなかった場合や、確認できなかった場合は、ご連絡させていただくことがあります。

成長曲線でお子さんの成長を確認しましょう

3月で今年度の身体測定は最後になります。1年間のお子さんの成長記録を曲線グラフにして、お渡しする予定です。身長伸びは個人差が大きく、年間を通じてどのくらい伸びているかを見ることが大切です。1年を通じて、身長の伸びが悪い、急な体重の増減など心配な場合は医師に相談しましょう。



どんなことがわかるの?

成長曲線には、それぞれの年代の育ちの目安が帯状に示されています。このカーブが、標準的な子どもの発達を示しています。よく、成長曲線で子どもの身長と体重を調べて、「同年代の子どもと比べて大きいか小さいか」を気にする人がいますが、大切なのは、お子さんの成長カーブが、成長曲線のカーブと合っているかどうかです。

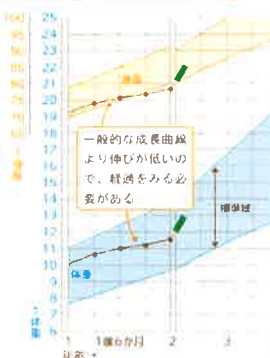


身長が高い・低い個性! 伸びるのが早い子も遅い子もいます。身長と体重のバランスが大切です。



注意が必要ときってどんなとき?

成長曲線に数値を記録したときに、成長曲線のカーブと、お子さんの成長の記録が平行に進んでいるかどうかチェック。成長曲線と平行に伸びていれば成長に問題はないでしょう。ところが、成長曲線よりも傾きがなだらかな場合は、成長障害のサインである可能性があります。



心配なとき、どうすればいい?

子どもの成長には、食事や睡眠が大きくかわります。まずは、食事のバランスや生活リズムなどをチェックしましょう。生活改善に取り組んでも身長や体重の育ちが改善しないときは、かかりつけ医に相談しましょう。

1月の感染情報

- インフルエンザA型
- アデノウイルス感染症
- りんご病(伝染性紅斑)
- 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎が流行する時期ですので嘔吐、下痢症状に気を付けてください。また症状がある場合は園にお知らせください。必ず症状が治まってから登園をお願いします。



今年度最後のほけんだよりです。保護者の皆様には、感染対策等で何かとご理解ご協力を頂きありがとうございました。

看護師 椎名春美